



公共施設の未来のカタチ [第1回] 将来を見据えた3つの柱

次世代へ負担を残さないように舞鶴市が目指す「公共施設の未来のカタチ」の取り組みをお伝えします。

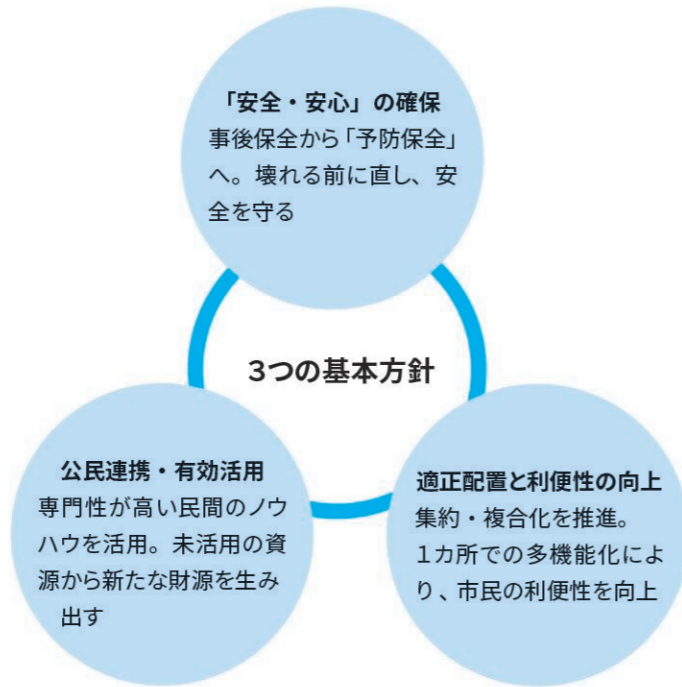
現状把握から始める公共施設の新計画

昭和40年代に集中的に整備した多くの公共施設が、今、一斉に更新期を迎えています。今後40年間に維持・更新経費は、年間約30.9億円が必要ですが、現状はその8割程度しか確保できていません。

また、舞鶴市は「東西2つのまち」として発展した背景もあり、双方の地域に同様の施設があるという舞鶴ならではの難しさもあります。

この課題解決に向けて「公共施設等総合管理計画」と「公共施設マネジメント基本計画」の改定を進めています。この計画では3つの基本方針を軸に、利用状況やコストのデータに基づく客観的評価を行い、対象施設の集約・縮減などを行うことで、今後20年間で延床面積19%相当のコスト削減に取り組んでいきます。

《資産マネジメント推進課》



地域医療の現状 [第2回] 医療人材確保の取り組み

舞鶴市の地域医療の現状や取り組みをお伝えします。今回のテーマは「医療人材の確保」です。

地域医療の維持には医療人材が不可欠

市民の皆さんがいつまでも安心して健康に暮らすためには、地域医療体制の維持と強化は最優先の課題です。そのためには地域医療を支える優秀な人材を安定的に確保することが必要であり、舞鶴市ではこの課題解決に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

将来を担う人材確保へ向けた取り組み

1つ目に卒業後、舞鶴市の医療現場で医師として働く意欲のある学生を支援する「奨学金制度」です。学生が経済的に不安なく学業に取り組める環境を整えることで、人材の育成を後押しします。

2つ目は、仕事のやりがいや魅力を伝える体験プログラム「ミッション・イン・ホスピタル」や「ナースイ

ンターシップ」の実施です。中学・高校生や看護学生を対象に行い、地域医療の現状や医療従事者の大切さを肌で感じてもらっています。

このように、さまざまな側面からアプローチすることで、今後も熱意ある医療人材の安定的な確保に向けて、取り組んでいきます。

《地域医療課》

ナースインターシップの参加者を募集

看護学生を対象に市内公的4病院を巡る
【日時】◇8月4日(火)・5日(水) ◇8月18日(火)・19日(水) ◇8月27日(木)・28日(金)
【定員】先着各10人
【申し込み方法】各開催日の1週間前までに、申し込みフォームで舞鶴赤十字病院(☎75・8046)へ。右コードからアクセス可。



「健康は楽しく生きるための手段」をモットーに、病気を未然に防ぐため、地域活動を続ける心不全看護認定看護師。舞鶴への深い愛着を原動力に、市民の命と笑顔を守るため、全力で走り続けています。

国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院
Sin Soul Brothers
松山 寛永 さん



地域に飛び出す心臓看護のスペシャリスト
まいつづる元気人

vol.112

大学での学びと自分が将来進みたい方向が違ふと感じ、中退して舞鶴へ帰郷しました。将来を模索する中、知り合いの紹介で始めた障害者就労施設での仕事が、私の人生を大きく動かししました。当時、施設に医療的ケアに対応できる職員がおらず、母親の付き添える週1回しか通所できない利用者がありました。「もっとみんなと働きたい」と思っても、医療の壁がそれを阻む現実に歯がゆさを感じていました。そんな中、看護師が施設に就職したことで、その利用者は毎日通所できるようになり、活動の場が広がりました。この時「自分も誰かの人生の壁を取り除き、その人らしい生活を送るためのサポートをしたい」と思ったのが、看護の道を決めたきっかけです。

舞鶴への愛着と専門「家」への道

看護学校卒業後は地元の病院に就職。京都府北部から重症の心臓

また、患者を看るうちに「もっと早く予防の知識を知ってもらいたいことができた」という思いが強くなりました。そこで自ら地域へ出ていこうと考え、心臓の予防啓発チーム「Sin Soul Brothers」を立ち上げました。現在は、公民館での健康相談やイベントでの啓発活動など、市民の身近な場所にいくことを目標にしています。今後は、子ども達へ

病院を飛び出し、地域へ

管疾患患者が集まる集中治療室に配属されました。そんな中、父親が心臓の手術を経験。家族が苦しんでいる時「自分に何ができるか」を考え、心臓の分野を極めようと決意しました。そして、専門知識で病状を的確に見極め、患者や家族の意思を尊重しながらケアを行う「心不全看護認定看護師」の資格を取得しました。



▲体験を通して、命の大切さを伝える

の啓発活動にも力を入れ、心臓マッサージ体験を通じて命の重みを知ってもらい、幼いころから自分の体を大切にしていけるようになってほしいと思っています。

健康は楽しく生きるための手段

心臓はよく車のエンジンに例えられます。車を定期的な点検するように、自身の体も点検してください。市が実施する健診などを受診して、体の調子を確認し、健康診断の結果を前年と見比べてください。もし数値が正常の範囲でも、体重や血圧の「変化」に目を向けることが大切です。家族と笑顔でご飯を食べる、趣味を楽しむなど、自分のやりたいことをかなえるための大切な手段こそが「健康」です。病気に悩む人を一人でも減らし、このまちがもっと活気にあふれるよう、これからも活動し続けます。

年に一度の健診でメンテナンスを

舞鶴市では、健診を実施しています。機会を逃さず、受診しましょう。詳しくは、市ホームページで。右コードからアクセス可。
【問い合わせ先】健康づくり課(☎65・0064)

